

広報誌

ほのぼのだより

秩父市社会福祉事業団

創刊号

平成29年11月発行



～もくじ～

- 施設長挨拶
「秩父市社会福祉事業団広報誌創刊にあたって」・・・P 2
- 秩父市社会福祉事業団の歩み ・・・P 2
- ほのぼのマイタウンの思い出 ～あの日、あの時～ ・・・P 3
- ほのぼのだより創刊にあたって（広報委員より）・・・P 3
- 特集「ほのぼの祭り」・・・P 4、5
- 夏の思い出、秋の思い出 ・・・P 6、7
- 入所者のみなさんが大活躍！ ・・・P 7
- 偕楽苑、長寿荘旅行 ・・・P 8
- 趣味『悠・遊』、わたしのお気に入り ・・・P 9
- ほのぼのTOPICS ・・・P 10
- ケアマネ日記、リハビリコーナー ・・・P 11
- information ・・・P 12

表紙の写真

今年も盛大に『ほのぼの祭り』が開催されました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。祭りの詳細は本紙特集ページにて掲載しています。



施設長 増田 靖

～秩父市社会福祉事業団 広報誌創刊にあたって～

「光陰矢の如し」ということわざのとおり、施設長に就任にして三年目を迎えました。日頃より、秩父市社会福祉事業団の運営におきましては、皆様からの温かなご支援・ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

現在、当法人の各事業所では、様々なイベントを開催し、利用者の皆様に「行楽・食欲・スポーツ・芸術の秋」を満喫してもらっています。その取り組みは、この後の紙面で紹介させていただきますが、皆さんの充実感、満足感、幸福感いっぱいの笑顔は、全職員の活力となり、法人の組織力に繋がっていると確信しています。

さて、話は変わりますが、今年度の4月1日より、社会福祉法の改正が全面施行されました。これは、法人の経営組織を見直し、透明性のある事業運営、地域貢献の責務など、これからの法人運営の在り方を示す大きな転換期となりました。当法人も、社会福祉法人としての社会的役割を再認識し、更に専門性や公益性を高めた事業運営を行っていく所存です。

それを具現化する取り組みの一つとして、従来までの施設・事業所ごとの広報誌を、このたび法人全体の広報誌として発行させていただくことにしました。紙面では、当法人が運営している高齢者、障がい者のサービス、事業の担い手である専門職、地域に貢献する取り組みなど幅広く情報をお伝えしていきます。

そして、単に伝えるだけでなく、様々な人に利用してもらい、訪れてもらう、こちらから地域に出ていくという、「人を動かす広報誌」を目指します。

最後に、来年の4月には、介護保険制度の改正や第7期介護保険事業計画が実施され、目まぐるしく法人を取り巻く情勢は変化しています。今後も、福祉に関する相談から様々なサービス提供について、多様なニーズに対応できるように成長してまいります。

秩父市社会福祉事業団の歩み



ほのぼのマイタウンの思い出 ～あの日、あの時～

『入社当時を振り返って』 偕楽苑 山田潤



ほのぼのマイタウン完成前の新規採用試験を受け、ほのぼのマイタウンに入社。偕楽苑の勤務が始まりました。私は介護の専門学校を卒業したばかりで『職場でいろいろ教えてもらえるだろう』と、正直甘い考えで出勤したのを今でも覚えています。当時は介護保険制度が始まったばかりでどこの介護現場もドタバタしていたのではないのでしょうか。ほのぼのマイタウンも例外ではありません。この年に新規オープンした為、職員全員が新規職員であり、親切丁寧な指導など何もありませんでした。全て自分たちで調べ、自分たちで決め、自分たちで実行しなければならない状況でした。ほぼ毎日、業務に関する会議が行われ、会議中、言い争いになることなんて当たり前の光景でした。しかし裏を返せば会議で言い争いになるくらい、情熱を持った職員がいるからこそ、今のほのぼのマイタウンがあると思います。入社して18年。改めて初心にかえり仕事をしていきます。

『思い出の長寿荘』 秩父市ヘルパーステーション 黒澤久美子



秩父市社会福祉事業団が設立された年、20歳で未熟であった私は就職が決まったことを純粋に喜んで入社したことを覚えています。勤務先は養護老人ホーム長寿荘。私を含め新規職員は8人。当時の長寿荘は現在の建物ではなく、寺尾にある築30年越えの木造施設で、トイレは汲み取り式、洗濯機は二槽式でした。スイッチ一つで何でも出来てしまう時代に生まれ育った自分には衝撃の環境でした。私には不慣れでも住んでいる利用者は生き生きと生活していました。出来ることは自分で、利用者同士で助け合い、共同スペースは当番制で掃除をしていました。笑顔と利用者同士のコミュニケーションあふれた施設で互いに元気をもらいながら勤めていました。あの頃は皆、未熟でしたが、利用者が楽しく過ごせるように話し合いをしながら一心に取り組んでいました。現在はヘルパーステーションに勤めていますが、気持ちは変わらず取り組んでいます。

『理想を求めて』 偕楽苑 内田信弘



ほのぼのマイタウンに入社して11年になりました。以前は他施設で5年程、勤めていました。その5年間は業務を円滑に行うことに集中し、入居者の充実した生活について考えることができずにいました。それもあって私は転職を考え、ほのぼのマイタウンに入社することにしました。私が忘れられない出来事として入社してすぐに行われた外出行事があります。『利用者が楽しめるように出来るだけ多くの方を外出に連れて行こう』と行事を行うときは考えます。しかし、通常業務も同時にある為、職員が足りないといった現実があり実行できないことがあります。『仕方ないな。』と私は思っていましたが先輩方は『業務を見直して連れて行こう』と話し合いを行って『私が残業するよ』『少し早く業務に入るよ』等の声が次々と上がりました。何年も介護に携わりながら初心を忘れず、工夫して改善する、そして充実した生活に繋げていく。その考えが今も自分の介護の礎であり、今後も続けていきたいことです。

ほのぼのだより創刊にあたって

昨年度まで各事業所で広報誌を発行していましたが、今年度から秩父市社会福祉事業団の広報誌として生まれ変わりました。この広報誌では、利用者の日常の姿はもちろんのこと、福祉業界ならではの様々な情報を発信する情報誌として皆様にお届けできればと思っています。また当事業団の広報委員会ではインターネットを通じて『フェイスブック』も折々更新しています。各事業所で行ったイベントや慰問、日常生活の様子等を写真付きでお届けしています。そちらも合わせてご覧いただけると幸いです。

広報委員一同

特集

平成29年度

ほの



今年も待ちに待ったほのぼの祭りがたくさんの方に足を運んでいただき、盛大に開催されました。今年は利用者さんにもプログラムに参加して頂き大盛況でした。



職員が秩父屋台囃子を演奏している時に、飛び入りで参加される方もいて、一緒に盛り上がりました。



中寺尾民踊会の方々にもご協力いただきました。会場の皆さんも手拍子をして楽しんでいました。



ほの祭り

寄居チンドン一座

寄居チンドン一座さんによる磨きのかかったプロの芸や技を、披露していただきました。



お楽しみコーナー・露店販売

ボランティアの方にお楽しみコーナーやジュース販売などを協力していただき、一緒に祭りを盛り上げました。露店販売では、みそポテトや焼きとりを購入した方から「美味しい」と大好評でした。



ひげダンスショー・おまけコーナー

『ひげダンスショー』や『お絵描きコーナー』など会場の皆さんが参加できる企画を用意しました。皆さん恥ずかしそうにしながらも、積極的に参加していました。また、ゆるキャラの『ポテくまくん』と『ぐんまちゃん』が遊びにきました。



ズンドコ節・グランドフィナーレ

この日のために一生懸命練習してきた踊りを、利用者さんと職員みんなで一緒に披露しました。最後には『まつり』を歌い、熱気が冷めることなく無事にほのぼのの祭りを終えることができました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

夏の思い出

養護老人ホーム長寿荘

夕涼み会

夏の暑い盛りに涼を求めて夕涼み会を開催しました。スイカ割りと花火で大賑わい。やきそばにもつ煮、そしてビールに舌鼓。暑さに負けない元気を養うことができました。



蒔田デイサービスセンター

流しそうめん



夏恒例の流しそうめんを行いました。やっぱり青空の下で食べるそうめんは最高。麺つゆは3種類。醤油、冷汁、くるみ。人気はやっぱり“くるみ汁”です！

特別養護老人ホーム偕楽苑

川瀬祭り見学



7月19日、『川瀬祭り』に行ってきました。笠鉦や屋台を見て、夜は花火を見ながら飲んだり食べたり充実した一夜を過ごしました。



高篠デイサービスセンター

納涼祭



着物やはっぴに身を包み、焼き鳥やかき氷、ヨーヨー釣りなど思わず夢中になり、まるで子供の頃のような笑顔が見られました。

上吉田ひだまり

七夕祭



『秩父の七夕 お祝いは仙台風で』
8月7日は秩父の七夕です。台風が接近する中での七夕となりました。今年も皆でこの日に合わせて七夕飾りを作りました。皆さんの願いのこもった飾りつけです。彦星と織姫もきっと台風に負けず出逢えたことでしょう。そして、食事は牛タンに笹かま。おいしくいただきました。

秋の思い出

焼き芋

焼きさんま

天井実演

手作り卵まんじゅう

おはぎ作り

居酒屋外出

秋の味覚をまとめてみました。美味しいものがたくさん実る食欲の秋です。旬のものはやっぱりいいですね。また、手作りのおやつにも挑戦して、出来立てを美味しく食べたりもしています。美味しい顔でハイチーズ！

ぶどう狩り

入所者のみなさんが大活躍！

合同レク大会で優勝！

埼玉県老人福祉施設協議会秩父支部主催による秩父地域における老人福祉施設の交流・親睦を目的とした風船バレーに参加しました。特養部門では延長戦でも決着がつかず、「偕楽苑」が見事、2チーム同時での優勝となりました。養護・ケアハウス部門の「長寿荘」が安定した戦いぶりで勝ち進みましたが、惜しくも準優勝でした。利用者さん達は「疲れたが楽しかった」と嬉しそうに話していました。

案山子制作、そして入賞

8月27日、案山子の授賞式に行ってきました。偕楽苑、長寿荘、蒔田デイサービスが合同で制作した作品が『秩父農林振興センター所長賞』を、上吉田ひだまりと高篠デイサービスセンターがそれぞれ『金賞』を受賞しました。どの作品も素晴らしく、利用者さんも飾られている作品を見てとても喜んでいました。



偕楽苑、長寿荘、蒔田デイ



高篠デイサービス



上吉田ひだまり



授賞式の様子

神奈川県藤沢市 in 辻堂海水浴場



江の島をバックに記念撮影



海を見て“たそがれ中”



9月28日に神奈川県藤沢市の辻堂海水浴場に行ってきました。「久しぶりに海を見られて楽しかった」という声がたくさん聞かれました。目の前に広がる海を見つめ、寄せる波に様々な思いが重なっていました。口をついて出た合言葉は、「また、来ようね！」来年の夏が待ち遠しいです。

群馬県伊香保

～伊香保グリーン牧場・水沢うどん～

10月17日に群馬県伊香保町へ日帰り旅行に行ってきました。伊香保に行くならお昼ご飯はやっぱり水沢うどん！日本三大うどんの一つということで、味は格別、ボリューム満点でした。お腹いっぱいになったところで伊香保グリーン牧場へ。さまざまな動物達との触れ合いを楽しみながら、ソフトクリームにも舌鼓。行き帰りの車内でも会話が途切れることなく盛り上がり、楽しい旅行となりました。



趣味 悠・遊

皆さんの趣味はなんですか？
今も楽しんでいることをお尋ねしました



黒澤知子さん（偕楽苑）

私はいつか本を出すことが夢で、昔からエッセイを書いていました。中学一年生の時、国語の先生に作文を褒められたのが文章を書く事が好きになったきっかけです。結婚後も家事の合間にエッセイや文章を書き続けていました。その後、偕楽苑に入所してからも書き続け、時々職員さんに読んで頂き、感想を聞いたり褒められることで、勇気や元気をもらっています。長い道のりだと思いますが、これからも本を出すことを目標に書き続けていきたいと思っています。



浅見千三子さん（長寿荘）

私の趣味は、65歳から始めた編み物です。始めたきっかけは、私を子供のころから大切にしてくれた叔父と叔母への恩返しのためでした。公民館の編み物教室へ何年も通い、セーターやぬいぐるみが編めるようになりました。その後、長寿荘で生活することになり、「もうできなくなる」と思いましたが、引越しのため、自宅の荷物を処分する際に、あるヘルパーさんが、また編みたくなったらと編み棒は捨てずに取っておいてくれたのです。出会った人を大切に、今また編み物の楽しさを取り戻し、毎日楽しく生活しています。



倉林シゲ子さん
（ヘルパー利用中）

私の趣味は、民謡です。60歳くらいに民謡の先生をしている妹から誘われて始めたのがきっかけです。歌、三味線、踊りなどを教えてもらい練習して公民館や施設等で以前から披露していました。病気や怪我で出来なかった時期もありましたが、周りの支えもあり続けることができています。足を痛めたので三味線を運ぶことや準備をすることが大変なのですが、妹や友人が手伝ってくれるので行うことができています。また、三味線の演奏は腰をかけてやるようになりましたが、特に支障なく演奏できています。今後も妹や友人に協力してもらいながら続けていきたいと考えています。

わたしのお気に入り

職員の趣味 を紹介♪

私のお気に入りには、飼い犬と触れ合うことです。今は3歳の柴犬を飼っています。名前は春に家に来たので『ハル』と言います。5年前には別の犬を飼っていましたが亡くなってしまい、1年間寂しい思いをして

いる時に今の犬が家に来ました。3歳とまだ若く元気でおてんばな犬です。仕事のため普段は一緒にいる時間が少ないですが、仕事で疲れて帰った時にしっぽを振って待っている姿を見ると、仕事の疲れも吹き飛びます。これからも、飼い犬から元気をもらい、今以上に仕事を頑張っていきたいと思っています。



石森千晶 職員（偕楽苑）

ほのぼのTOPICS (～地域の一員として)

“あんきなくらし”を応援します

当事業団では、『彩の国あんしんセーフティネット事業』、『介護・障がいに関する出張研修事業』のほかに、事業団職員が直接地域に出向いて支援する事業を実施しています。毎月会議を行い、地域における公益的な取り組みについて検討を重ねています。

以下に実施内容の一例を紹介します。



訪問活動の様子

【あんきなくらしサポート事業】

あんきなくらしサポート事業は、地域へ出張事業であり、秩父地域の各地へ事業団職員が出向き地域交流を図るとともに、相談や活動の場を提供します。そして、住民との話し合いや交流の中から地域で困っていることや支援を必要としていることを確認し、その地域の住人が住み慣れた地域で“あんき”に暮らせるよう生活のサポートを行う事業です。交流を重ねることにより、地域の高齢者、障がい者、困っている方の生活実態を把握し、住民と共に考え、地域の一員としてつながることで地域コミュニティの活性化を図ります。実施地域は秩父市全域ですが、平成29年度はモデル事業として浦山地区、大滝中津川地区での実施となります。

地域の清掃活動に参加しています

長寿荘では、「中薮田地域の環境を守る会」で行われている草刈りや清掃活動に参加しています。毎回2時間程度の作業ですが、みなさん一生懸命草刈りやゴミ拾いを行っています。参加している入所者の方々は、「疲れたけど気持ちよかったよ」と、地域活動への参加と近隣住民の方々との触れ合いを喜んでいます。11月も活動予定がありますので、今後も参加をしていきたいと思います。



清掃活動の様子

日赤奉仕団ボランティア活動

偕楽苑では、毎月赤十字奉仕団の方々に傾聴ボランティアに来ていただいています。月に1度の奉仕団の皆さんとの交流を利用者の皆さんも楽しみにしています。奉仕団の方々の話では、訪問する際には、「おとなしそうな人に話しかけるようにしている」「視線を合わせて寄り添って話を聞いている」などの点に注意して、なるべく全員の利用者さんと接するよう心掛けているそうです。傾聴ボランティア以外では、献血のお手伝いや救命救急講習、炊き出し訓練などの活動をされているとのこと。ボランティアをされていて良かったことは、「物事を客観的にみられるようになった」「利用者さんの話を聞いていて、色々なことを受け止められるようになった」「ボランティアをされていて楽しい」などのご意見を頂いています。



交流の様子



日赤奉仕団の皆さん

ケアマネ日記



村松 ケアマネージャー

こんにちは村松です。私たちの仕事の中では元気な高齢者の方によく出会います。現在日本の平均寿命は世界第2位です。男性80.9歳、女性は87.1歳、男女で6歳以上の差があるんですね。女性も活躍している現代社会において、男性はもっと頑張らないといけませんね。

ところで皆さん、平均寿命の出し方って知っていますか？自分が何歳まで生存できるかではないんですよ。その年に生まれた0歳児が何歳まで生きるかを、国の統計に基づいて予測しているものなんです。

じゃあ、今の高齢者は長生きできないの？いえいえ、そんなことはありません。厚生労働省が毎年敬老の日に合わせて百歳以上の高齢者数を調査しています。調査を開始した1963年は153人でしたが、今年は百歳以上の方が、なんと全国で60,569人いるそうです。ここでも女性が強く、57,525人となっています。また、百歳以上の方の人数は、46年連続での増加となっており、さらに今年度中に百歳を迎える方は3万人を超えています。その中でも、最高齢の方は鹿児島県の女性で、なんと116歳です。男性も負けていません。東京都在住で112歳の方がいらっしゃいます。もちろん、ほのぼののマイタウンにも百歳以上の方がいらっしゃいます。最高齢の方は104歳です。

長寿化している要因は、医療の進歩はもちろんですが、『高齢者の健康意識の高まり』も影響しているといわれています。自分も40歳目前、健康診断の結果でも身体の不調が出てきています（泣）。負けずに健康維持しなくてはなりませんね。これが数字で見る高齢化です。これからも高齢者の数はどんどん増えていきます。我々も今後の動態に応じ、様々なニーズに柔軟に対応する力を身に付けていきます。ちなみに、百歳のお祝いとしてもらえる『銀杯』ですが、今年度より純銀製から銀メッキへと変更になってしまったそうです....。

リハビリコーナー

今回のテーマ 『腰痛』



理学療法士 新井

「腰痛」は、日本人の8割以上が一生に1度は経験すると言われています。厚生労働省が、平成25年6月に『職場における腰痛予防指針』を改定していますが、腰痛により仕事を休業する方が多いこと、高齢者介護の現場で腰痛が増加傾向にあることが問題になっています。そこで、偕楽苑では今年8月から、朝・昼・夕の一日3回、腰痛体操を行う取り組みを始めました。立ったまま3分程度の時間で行えるようにアレンジした、次の4種類の体操を行っています。

- ① 足を開いて腰を反らす運動、② 足を開いて腰を落とす運動、③ 足を交差して前屈する運動、④ アキレス腱を伸ばす運動

以上4種類の体操のうち、①の運動は『これだけ体操』と呼ばれるもので、「前かがみの姿勢が続いた後」「思い物を持った後」「座りっぱなしだった後」に行うと良いそうです。ポイントは、膝を伸ばしたまま、上体をゆっくり3秒間息を吐きながら反らすことです。腰や膝に痛みがある方は、無理せずに取り組んでみてはいかがでしょうか。これからの時期は風邪などひきやすくなります。咳やくしゃみを前かがみで行うと腰に負担がかかります。腰痛予防には不自然でも、腰を後ろに反らせるようにしましょう。

参考文献：『医学管理のためのエクササイズ』（松平浩）

『立って行う腰痛体操 痛み・病気対策』（インターネットより引用）

Information (秩父市社会福祉事業団からのお知らせ)

感染症対策機器を導入しました

今年度より、事業団では『次亜塩素酸水生成器』と専用の『超音波噴霧器』を導入しています。次亜塩素酸水とは、食塩と水道水を使用して生成できる消毒液で、高い消臭効果と除菌力があり、手指の消毒など利用者さんにとっても安心です。また、次亜塩素酸水は安全な成分から造られているため、噴霧器を併用することでフロア内の空間を除菌できます。インフルエンザなどの感染症が流行する時期になっておりますが、事業団では今後も引き続き施設内の感染予防に努めていきます。



生成器



超音波噴霧器

秩父市社会福祉事業団職員募集について

《募集内容》

☆介護職員（契約職員）…夜勤、変則勤務あり

☆介護職員（パート職員）…夜勤なし、勤務日数・勤務時間は応相談

☆ホームヘルパー（パート職員）…勤務日数・勤務時間は応相談

福祉の仕事に興味のある方、私たちと一緒に働きませんか。資格が無くても大丈夫！懇切丁寧に指導します。勤務時間についても相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。

《連絡先》

法人事務局（総務課） TEL 0494-21-5535

担当：加藤、長谷川

《採用情報》

秩父市社会福祉事業団ホームページ

URL:<http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/index.html>

編集後記

『読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋』など秋にも色々ありますが、皆さんはどの秋を堪能していますか？9月に開催した毎年恒例の「ほのぼの祭り」には、沢山の方にお越しいただきありがとうございました。当日は天候に恵まれ、利用者さんもととても喜んでいました。

さて、今回から法人全体としての広報誌を作成しようということで準備を重ねてきましたが、ようやく発行までこぎつけることができました。原稿の締め切りから開放され、ほっとしています。広報委員のメンバーが一丸となって楽しい紙面になるよう試行錯誤している段階ですが、みなさんのご意見やアドバイスを取り入れながら、良い広報誌になるよう今後もがんばっていききたいと思います。(井)

秩父市社会福祉事業団「Facebook」更新中！ <https://www.facebook.com/chichibu.honobonomytown>

秩父市社会福祉事業団 HP アドレス

<http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/>



秩父市社会福祉事業団

検索

